

第707回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B Cテレビ

「いわて見聞録 ～岩渕麗楽、冬のミラノ・コルティナに跳ぶ
雪の王国いわてに届ける金メダル～」

2026年2月26日（木）

(株) I B C 岩手放送

第707回IBC番組審議会

1. 開催日時 2026年2月26日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 9名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

委員 繁田 奈菜子

後藤 高宏

郷右近 勤

高橋 司

柴田 千春 (レポート)

菊地 文彦 (レポート)

龍澤 尚孝 (レポート)

欠席委員の指名 熊谷 志衣子

会社側出席者

眞下 卓也 代表取締役社長

八木 宏樹 常務取締役編成局長

兼平 宗彦 取締役メディアセンター長

大野 浩 報道制作部 副部長

事務局

藤原 崇史 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局長

4. 議題

IBCテレビ

「いわて見聞録 ～岩渕麗楽、冬のミラノ・コルティナに跳ぶ
雪の王国いわてに届ける金メダル～」

1月31日(土) 午後4時半～午後5時 放送分

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 岩渕選手の素晴らしさ、競技やそれが生んだ文化、そして彼女を取り巻く環境の素晴らしさが伝わる30分とは思えないほど感動的な番組だった。夏の埼玉での練習風景から、冬の岩手のスキー場の様子、それから彼女自身だけではなく、彼女を作り上げた人や環境にも時間をかけて丁寧に取材されていたと感じた。

- ニュースで見るダイナミックなジャンプと、普段のあどけない女子大生のような姿とのギャップに驚き、応援にも熱が入った。

- 夏油高原スキー場で彼女のためにスポーツ少年団を立ち上げたというくだり、岩渕さんの原点というのはやはり岩手にあるんだなということを再確認させるもので、この辺りは地元ならではの構成だったと思った。

- ジャンプ台の上からの映像は臨場感があり、選手たちの恐怖との戦いがイメージできた。スノーボードの成り立ちは雪上のサーフィンとの説明があり、非常に興味深かった。

- ミラノで大技のフロントサイド1440に挑戦をするということも宣言していたが、どんな技なのかグラフィックやスロー映像での解説があればより視聴者の理解を助けると思った。

- 国や順位に関係なくお互いを称え合うスノーボード競技の精神性・素晴らしさが番組で描かれていたが、もう少し強調し、勝ち負けだけではないスポーツの価値として、これから競技を見る子どもたちや若い世代に向けたメッセージとして残せるとさらに良かった。

- 怪我や蓄積の疲労の部分で、何でもいからチャレンジするという精神だけでは賄えない葛藤があるだろうと思うが、その部分も紹介できればより一層人間味があふれる内容になったのではないかと。「いわて見聞録」の良さをIBCの独自性として継承し、引き続きさらに良い番組をつくってほしい。